



聖日礼拝プログラム

今週のみことは

司会者 渡邊貞雄師 奏楽者 渡邊頼子師

讃美	新351	主の御手を頼る日は(★)	—	同
主の祈り			—	同
讃美	ひ70	父の涙(★)	—	同
交読	詩篇	130:1~8	—	同
祈禱	(コメントと祈り)		司会者	
報告			司会者	
聖書	創世記	14:1~24	司会者	
説教	「ロトの救出」		渡邊貞雄師	
献金	新393	献げまつりし(★)	山口多恵子姉	
頌栄	新63	父、御子、御霊の	(起立)	一同
祝禱				

★印 = 全節朗読

〒515-0044 三重県松阪市久保町1445-7 COG 松阪キリスト教会
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子

彼はアブラムを祝福して言った。
 「アブラムに祝福あれ。いと高き
 神、天と地を造られた方より。」
 創世記一四・一九



2020年6月21日 VOL. 43-25 No. 2277

URL <http://matukyo.com/>
 Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 本日は「父の日」記念の日です。先週祈禱会では「わたしのお父さん」のテーマで感謝と祈りを捧げました。
- ▼ 来聖日にアフターコロナに向けた、7月の「教会奉仕者表」を配布の予定です。祈りつつ、今後の備えとご協力をお願いいたします。
- ▼ 今週も24日(水)の祈禱会、27日(土)の教会奉仕を予定しています。よろしくをお願いいたします。
- ▼ 先週の礼拝に、陽志郎さんとまり

子さんがご出席されました。また、16日には下門さんと小山さんが、教会にお出でになりました。

- ▼ 来聖日の聖日礼拝は、聖書=創世記15:1~19、主題=「アブラハムの義」、中心聖句=創世記15:6となります。



にれ はみ

2020年6月14日
聖日礼拝
創世記13:1~18
「目を上げて見よ」
説教 渡邊貞雄師



アブラムの旅程の、ウル～ハラン～カナンまでを地図でも確認しておこう。

I、ロトとの別れ

アブラムは同行して来たロトに別れを切り出した。子供のない彼にとり、その別れはどんなだったことだろう。

別れる理由は、所有物が多く一緒に住めないことであった。使用人たち同士も争った(6)、また原住民たちにも気を遣うものであった(7)。

コロナの影響で、Social Distance (社会的距離)、Physical Distance (物理的距離)、Spiritual Distance (霊的距離)の言葉を耳にする。人は豊かだとプライド、学歴、業績等で距離感を持つ。二人の場合は、Physical Distanceと言ってよいだろう。

II、信仰による選択

アブラムは争いのないように、親類(兄弟)同士だからと話をした(8~)。そして全地はあなたの前にある。好きな場所を選び、自由に夢と希望を実現しなさいと勧めた(9)。彼は年上で親代わりなのにそう言うことが出来た。

ロトは自分で目を上げ、肉眼で見たソドムとゴモラを選んだ。一方のアブ

ラムはロトと別れた後に神に語られ、神に目を挙げられとは厳粛なことである(10、14)。神は「look up」(見上げなさい)、「look around」(見渡しなさい)、「Walk around」(歩き回りなさい)と語られた(17)。

その約束は北はヨーロッパ、南はアフリカ、東はアジアや日本へと拡大した。信仰で見えた約束の大きさを知る。

III、アブラムの信仰

前回、彼は築壇の生涯と語った。飢饉でエジプトに下り、そこで大失態を犯しエジプト王ファラオに追放された。アブラムの心は重かったに違いない。

しかし、最初に築壇した場所に戻りもう一度、主の御名を呼び祈った(3、4)。「すごろく」で言えば、「ふり出しに戻る」です。ここで彼は失敗を責める神ではなく、失敗を許す神を経験した。人は失敗する、しかし神は私たちを赦して癒し、次のステップに前進させて下さる。この経験がロトへの寛大さと信仰を成長させたと言える。

私たちのベテルとアイの間にある築壇は、今も健在であり、語りかけて止まない所となっているのでしょうか！